



美味しい秋、見つけた

東京で旬の果物狩り



北多摩

多摩湖梨

8月下旬～9月中旬

多摩湖を囲む4地区で生産される梨のブランド「多摩湖梨」

は、果汁たっぷりで贈答用としても人気。味覚狩りができる観光農園も点在している。



北多摩

東京ゴールド

11月上旬

キウイフルーツと言えば外国産を思い浮かべるが、近年は東京オリジナルの新品種「東京ゴールド」が話題。黄色い果肉は甘みが強く、ほどよい酸味。

東京生まれの果物

「愛媛の

ミカン」や「栃木のとちお

とめ」ほどの知名度はないかもしれ

ない。しかし、実は東京多摩は知る人ぞ

知る果物栽培のメッカ。各観光農園では、夏から秋にかけて、ブドウ、ブルーベリー、みかんなどの味覚狩りが楽しめる。なかでも、梨は稲城市が誇る特産品。その名を冠した品種「稲城」は大玉で見ためのインパクトも大きく、上品な甘さ、瑞々しさで人気のブランド品種。生産量が少なく、地元のスーパーにすら出回らないという「幻の梨」だ。「稲城の至宝」とまで呼ばれるこの梨をはじめ、多摩の果物は現地まで出向いてでも食べる価値のある逸品揃いだ。

町田

まちだシルクメロン

6月中旬～11月上旬

「町田式新農法」と名付けられた最先端の水耕栽培により、極上の甘さとシルクのような滑らかな舌触りを実現。認定スイーツも販売されている。



南多摩

高尾ぶどう

8月下旬～9月上旬

東京生まれの高級ぶどう。巨峰の実生改良種で、強い甘味と濃厚な食味が特徴。栽培管理が難しく入手困難だが、出会ったらぜひ試したい逸品。



小平

小平ブルーベリー

6月中旬～8月下旬

小平市はブルーベリー栽培発祥の地。周辺には直売所や摘み取り農園が点在している。その魅力をPRする市のマスコットキャラ「ぶるべー」も活躍中。



武蔵村山

東京狭山みかん

11月上旬～12月上旬

狭山丘陵の日当たりのよい斜面を利用して生産される。外皮は薄くむきやすく、糖分と酸味のバランスが美味。武蔵村山市には、みかん狩りができる農園も点在。

